

## 標準仕様

工程	材料	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間	
					工程内	工程間
1	素地調整	①劣化した既存塗膜は電動工具・手工具を用いてケレン除去して下さい。 ②既存塗膜のチョーキング、ほこり、汚れ等を高圧水洗浄等で除去・清掃して下さい。				
2	下塗り ダイヤガンコーシーラーマイルド A液 無希釈 B液	14kg 1kg	0.1~0.3kg/㎡ 50~150㎡/セット	1~2	3時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内
3	上塗り ダイヤオルガードマイルド A液 ダイヤシンナーN 刷毛・ローラー B液	10kg 2kg 0~2%	0.2~0.3kg/㎡/2回 40~60㎡/セット/2回	2	ローラー 16時間以上	—

注1) 間隔時間は、標準状態(温度23℃,湿度50%RH)での時間を示します。  
注2) 既存塗膜がアクリルシリコン樹脂塗料又はふっ素樹脂塗料の場合は、ダイヤセランプライマーS又はダイヤメンテプライマーTNを下塗材としてご使用下さい。  
※厚形スレート瓦、アスファルトシングル及び金属系屋根瓦の改修には適用しません。

工程	材料	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間	
					工程内	工程間
1	素地調整	①電動工具・手動工具を用いて劣化した旧塗膜を除去し、発錆部は2種ケレン(SSPC-SP3,ISO St3)程度まで除錆して下さい。旧塗膜は全面表面あらし後、清掃ケレンを行って下さい。 ②こけ、ごみ等付着物、汚れ、劣化塗膜がある場合は、密着力低下の原因となりますので、入念に除去し、油分は塗料用シンナー等の溶剤にて拭き取って下さい。 ③旧塗膜の活膜部については、チョーキング・塩類等の付着物を高圧洗浄、サンドペーパー掛け等の方法で除去・清掃して下さい。				
2	補修塗り 素地露出面 ダイヤヒスイエボサビ#200A A液 ダイヤシンナーN 刷毛・ローラー B液	14.4kg 1.6kg 0~2%	—	—	—	4時間以上 7日以内
3	下塗り ダイヤヒスイエボサビ#200A A液 ダイヤシンナーN 刷毛・ローラー B液	14.4kg 1.6kg 0~2%	約0.16kg/㎡ 約100㎡/セット	1	—	4時間以上 7日以内
4	上塗り ダイヤオルガードマイルド A液 ダイヤシンナーN 刷毛・ローラー B液	10kg 2kg 0~2%	0.2~0.3kg/㎡/2回 40~60㎡/セット/2回	2	ローラー 16時間以上	—

注1) 間隔時間は、標準状態(温度23℃,湿度50%RH)での時間を示します。冬期、夏期では、温度、湿度によって間隔時間にかかなりの差異がありますので注意して下さい。  
※SPPC: Steel Structures Painting Council (アメリカ鉄鋼塗料塗料審議会) ISO: International Standard (ISO 8501-1:1998)

工程	材料	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間	
					工程内	工程間
1	素地調整	①劣化した既存塗膜は電動工具・手工具を用いてケレン除去して下さい。 ②既存塗膜のチョーキング、ほこり、汚れ等を高圧水洗浄等で除去・清掃して下さい。				
2	上塗り ダイヤオルガードマイルド A液 ダイヤシンナーN 刷毛・ローラー B液	10kg 2kg 0~2%	0.2~0.3kg/㎡/2回 40~60㎡/セット/2回	2	ローラー 16時間以上	—

注1) 間隔時間は、標準状態(温度23℃,湿度50%RH)での時間を示します。  
注2) 既存塗膜がアクリルシリコン樹脂塗料又はふっ素樹脂塗料の場合は、ダイヤセランプライマーS又はダイヤメンテプライマーTNを下塗材としてご使用下さい。

工程	材料	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間	
					工程内	工程間
1	素地調整	①劣化した既存塗膜は電動工具・手工具を用いてケレン除去して下さい。 ②既存塗膜のチョーキング、ほこり、汚れ等を高圧水洗浄等で除去・清掃して下さい。				
2	下塗り ※ ダイヤアクリスエボ 清水 中毛ローラー	16kg	0.6~1.0kg/㎡/2回 16~26㎡/缶/2回	2	5時間以上	16時間以上
		16kg	0.8~1.0kg/㎡ 16~20㎡/缶	1	—	
3	上塗り ダイヤオルガードマイルド A液 ダイヤシンナーN 刷毛・ローラー B液	10kg 2kg 0~2%	0.25~0.35kg/㎡/2回 34~48㎡/セット/2回	2	ローラー 16時間以上	—

注1) 間隔時間は、標準状態(温度23℃,湿度50%RH)での時間を示します。  
注2) 既存塗膜が外装薄塗材C、外装厚塗材Cの場合は施工できません。防水形外装薄塗材E、防水形外装厚塗材Eは別途お問い合わせ下さい。  
※ダイヤアクリスエボの代わりにダイヤアクリスフィラーもご使用いただけます。

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たにシーカ・ジャパン株式会社としてスタートいたしました。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト <https://www.dia-dyflex.jp/>にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。

(23.11月現在)23.11.200 SJ

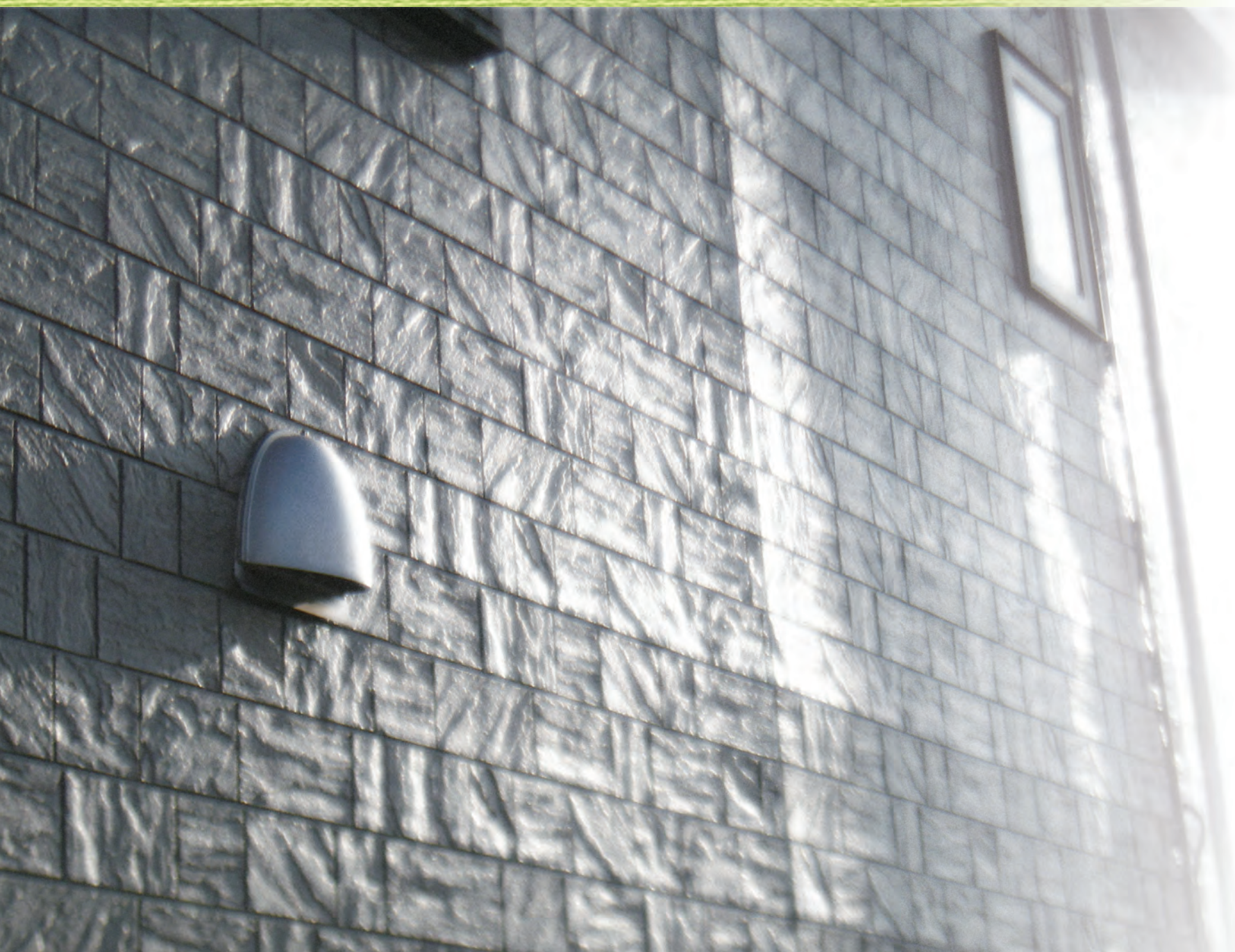
# オルガード工法 ダイヤオルガードマイルド

新世代の最上級ブランド塗料による 強く、美しい塗りかえのご提案



いつまでも美しく  
若々しい住まいを提供する

## 「ダイヤオルガードマイルド」



### 無機系塗料とは・・・

「無機塗料は20世紀の大発明」といわれる「塗るタイル」といわれ、その特性を生かした製品で土木、建築分野で幅広く採用されている製品です。また、**変性無機**という燃えにくい**特性**もあり幅広い分野での活躍が期待されています。

**最上級塗料**だからできることがたくさんあります。

**性能を追求した最高傑作**が無機塗料という形になりました。

**最高レベルの耐久性と、優れた汚染性**を実現した塗料です。

住まいを直射日光や熱、紫外線から守ります。  
従来使われてきたシリコンやフッ素タイプと比べ、  
更なる耐久性を発揮する塗料 **「ダイヤオルガードマイルド」**

**優れた耐久性でその美しさを**

**約25年間という長期に渡って保ちます**

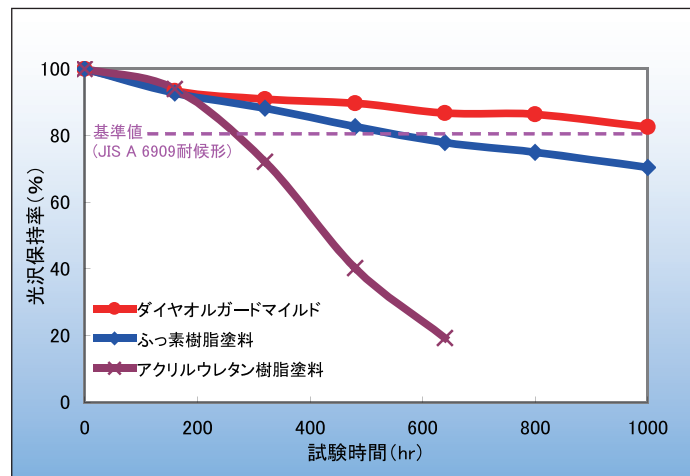
# こんなことが可能な塗料です。

## ①紫外線からの攻撃を防ぎ、大事な建物の外観を長期間にわたって維持します。

### 促進耐候性試験(スーパーUV)

太陽光・温度・湿度・降雨などの屋内外の環境条件を人工的に再現し、劣化を促進させ、いち早く製品・材料の寿命を予測できる試験です。

※光沢保持率が高いほど塗膜の劣化が小さいことを示します。

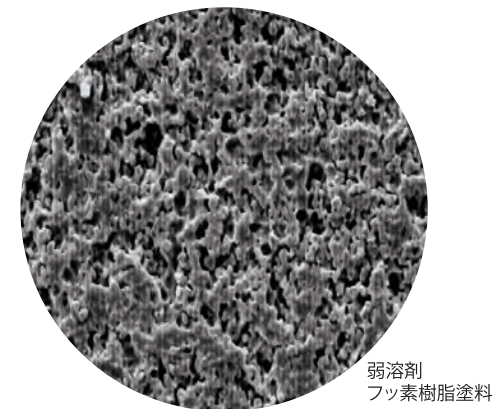
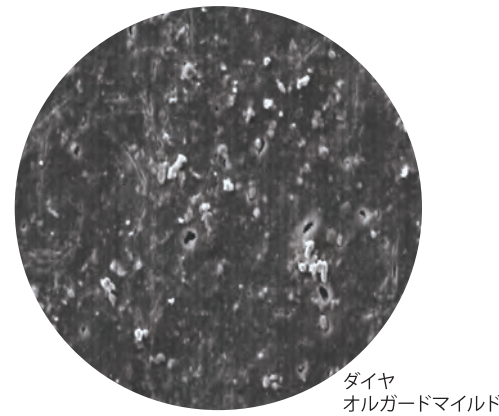


内陸	耐久年数	5年	10年	15年	20年	25年
海岸	耐久年数	5年	10年	15年	20年	

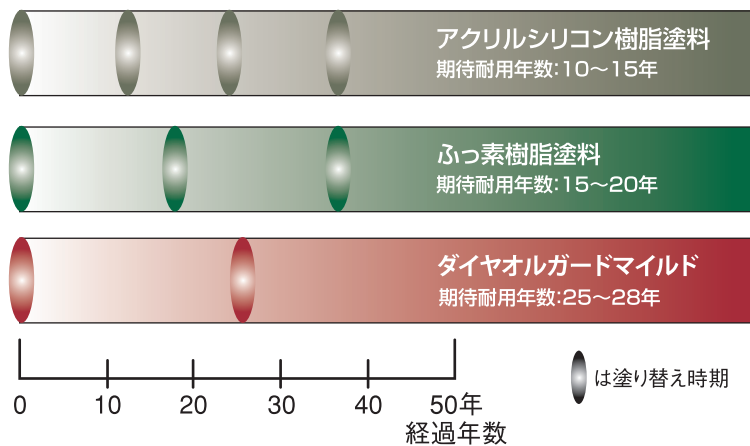
宮古島で屋外に2年放置した場合の塗膜表面 (電子顕微鏡写真)

塗膜の劣化が進むと、写真のように塗膜表面に微細な孔が空いているような状態となり、光沢が低下し、色相も変化します。

※目が粗い=劣化が進んでいることを表します。



### ライフサイクルコストの比較



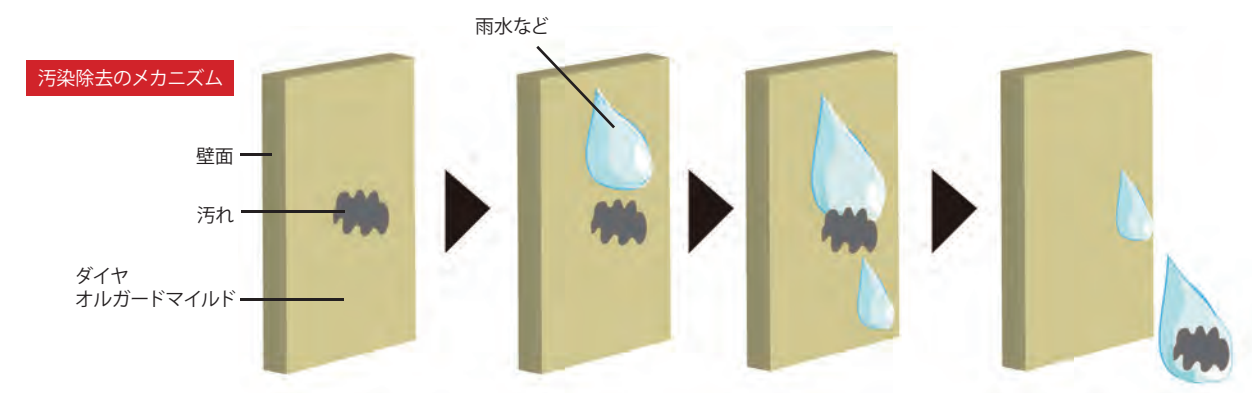
### 50年で1~2回の塗り替え

耐久性塗料として位置付けられるアクリルシリコン樹脂塗料やふっ素樹脂塗料の場合、約50年間で2~3回の塗り替えが必要であるのに対し、ダイヤオルガードマイルドは1回の塗り替えで済むため、ライフサイクルコストの削減につながり、環境への負荷低減にも貢献します。

●建物の寿命を50年とした場合  
●期待耐用年数は標準的な耐用年数。  
(ダイヤオルガードマイルドについては当社の技術見解)  
※塗り替え周期はあくまで目安であり、建物の立地条件や形状によって異なります。

## ②汚れがつきにくく塗装した際の色合いが長い間保たれます。

オルガードマイルドの緻密で強靱な塗膜が雨水で汚れを落としやすくします。

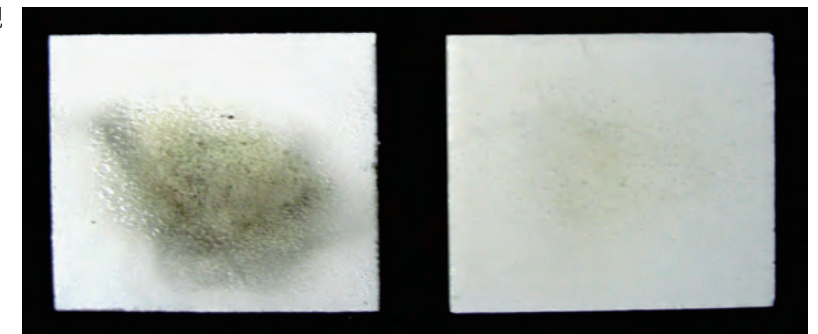


## ③万が一の周囲の火災に対して、延焼しにくい塗料です。

約1,700℃のバーナーで10秒間炙った際の外観

※無機高分子化合物(注)をハイブリッドすることにより、一般的な塗料よりも燃えにくい特徴を持っています。

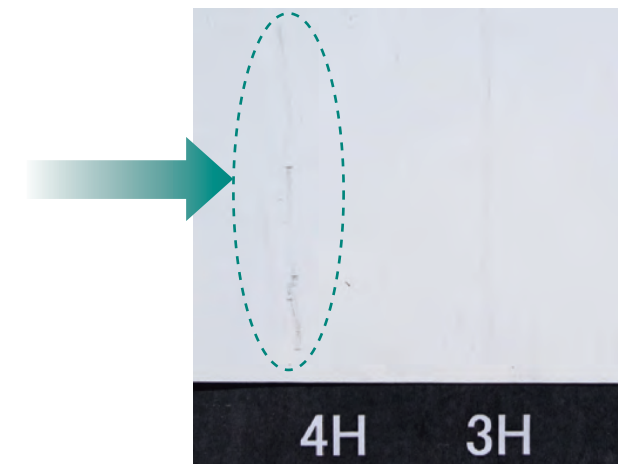
(注)無機高分子化合物は、炭素を含まない高分子化合物の総称である。中でもケイ素化合物が代表的であり、様々な分野で利用されている。



## ④傷がつきにくい、硬くて丈夫な塗料です。

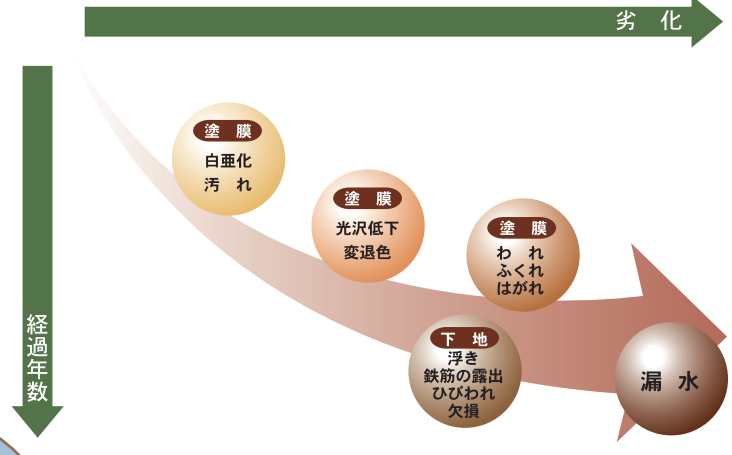
鉛筆の芯の硬さを利用して塗膜の硬さを表現します。

※塗膜を鉛筆で引っかくと、一般的な塗料がF~Hで傷がつくのに対し、ダイヤオルガードマイルドは3Hまで(HB~3H)傷がつかず、非常に硬いことがわかります。



# こんな症状は でていませんか？

時の経過とともに  
大切な建物は傷んでいきます。



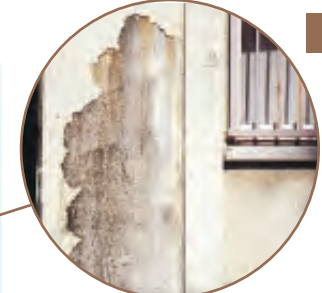
ベランダ 錆の発生・壁の汚れ



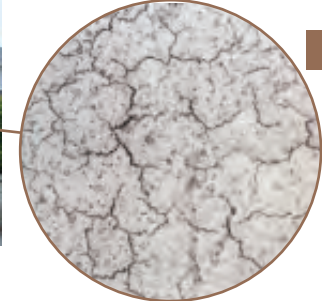
屋根 色あせ・劣化



壁 剥がれ



壁 汚れ・ひび割れ

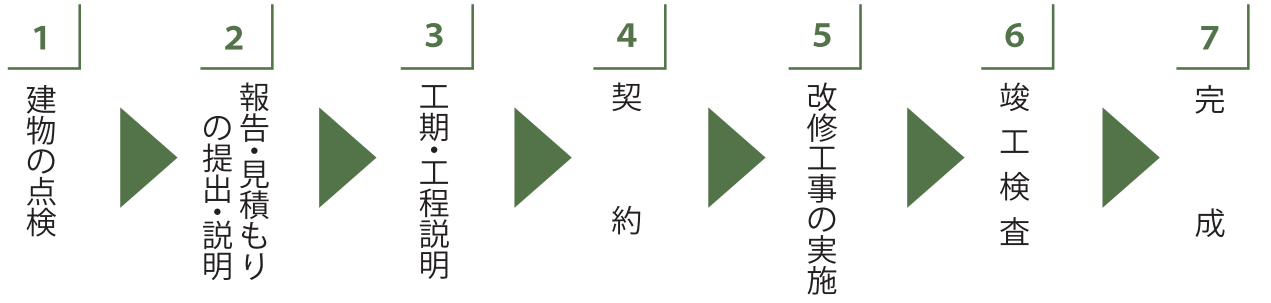


## 施工・保管上の注意点

- 【塗装面の調整（新設）】**
- ① 素地に付着している塵、汚れ、油類、レタス等を完全に除去して下さい。
  - ② セメント質下地は、表面の含水率10%以下（pH10以下）になるまで乾燥して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥期間は、夏期で1週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は、夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要です。
  - ③ 上塗り塗料は、均一に塗布してから施工して下さい。
  - ④ PCパネル、現場打ちコンクリートの場合
    - 1) 豆板、木コン、破損箇所、不陸などは、セメントフィラー、セメンシヤス#2000、セメンシヤス#2500、リマメル#70等の下地調整材を使用し、補修して平滑にして下さい。
    - 2) 表面が磁器レタス層がある場合は、レタスを除去し、ダイヤガンシーラー又は、ダイヤシーラーエをご使用下さい。
  - ⑤ ALCパネルの場合
    - 1) ダイヤカチオンフィラーを塗布して下さい。
- 【塗装面の調整（新設・改修共通）】**
- ① 屋上防水、自然排水管など水の透過が予想される箇所については、事前に十分点検し適切な処置をして下さい。
  - ② 使用シーリング材の種類により塗料のひび割れ、剥離、ブリード等の異常を生じる場合があります。あらかじめ塗料仕様を確認して下さい。
- 【塗装面の調整（改修）】**
- ① 各現場の改修工事仕様に基づき劣化部分の補修や既存塗膜の処理（ケレン、清掃、高圧水洗浄）などを行って下さい。
  - ② 塗膜が厚い場合は、取り除いてから施工して下さい。
  - ③ チョーキングは、サンダー、ワイヤブラシ等でケレン後、高圧洗浄で除去して下さい。
- 【材料の保管・管理】**
- ① 開封した材料は必ず密封し、直射日光や雨露を避けて保管して下さい。
  - ② 材料の保管は凍結や温度上昇による変質を避けるため、気温5～35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
  - ③ 下記の製品は色塗料です。気や臭気により十分注意して下さい。
    - ダイヤオールガードマイルド、ダイヤガンシーラーマイルド、ダイヤセランプライマー-S、ダイヤメンテプライマー-TN、ダイヤビスイェボサビ#200A、ダイヤシンナー-PS、ダイヤシンナー-N
- 【施工】**
- ① 気温5℃以下、降雨、降雪、強風下および湿度85%以上の場合は、または予想される場合は施工を避けて下さい。また作業後は、降雨、降雪の恐れがある時は雨（雪）発生をして下さい。
  - ② 材料は使用前に十分攪拌し、均一に塗布して下さい。配合割合を誤りません。成膜不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。
  - ③ 材料は付着乾燥しやすくと取れませんが、完全に養生をして下さい。塗付面周辺の養生を完全に取らないよう注意して下さい。また、塗付後は、塗付面に養生テープを取り除き清掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合ははがしを入れて下さい。そのまま取り除きますと壁が残り（ひび）となります。
  - ④ 乾燥時間は、温度、湿度、および、風等により差異を生じます。
  - ⑤ コンプレッツを使用する場合は必要十分な能力以上のものをご使用下さい。
  - ⑥ 下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
  - ⑦ 施工にあたっては、同一方法で、入り風、出風等見取りのよいところまで仕上げして下さい。同一面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因となります。
  - ⑧ 施工後24時間以内に降雨、結露等があった場合、水分の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
  - ⑨ 本施工に入る前に試験塗布を行い、乾きのタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりムラにならないよう確認して下さい。
  - ⑩ 希釈する場合は、希釈量を厳守して下さい。薄め過ぎるときれいに仕上ることがあります。特に薄め塗料の吸い込みがない場合は希釈量は希釈量の目安として参考にしてください。
  - ⑪ 常に結露が発生する地域・時期での施工を避けて下さい。
  - ⑫ 安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
  - ⑬ 一度に厚く塗ると色分けや発泡が生じることがあるため、間隔時間を守り、規定回数以上に分けて塗布して下さい。
  - ⑭ 屋上・下地の湿度によって、塗布量が異なる場合があります。
  - ⑮ フック等無関係などの副着塗料処理がされている下地については、付着性が十分に発揮されないおそれがありますので、ご使用の場合は最寄りの営業所へご相談下さい。

- ⑯ 使用時間及び塗料間隔は厳守して下さい。層間密着性の低下の原因となります。
  - ⑰ 使用した器具類は直ちに洗浄して下さい。放置すると硬化して洗浄することが難しくなります。
  - ⑱ 濃色や原色に近い色の場合、強くすると色が取れる場合があります。
  - ⑲ 下地の吸込みムラにより色彩のムラが発生する場合があります。
  - ⑳ シーラーと塗料を混ぜると硬化する恐れがありますので、容器・刷毛・ローラーなどの共用は避けて下さい。
  - ㉑ 上塗材を施工する場合は、下塗り後の乾燥状態を確認して下さい。
  - ㉒ 既存塗膜の劣化が著しい場合、また既存塗膜がセメント系の場合は高圧水洗後にはダイヤガンシーラーまたはダイヤワイドシーラーを塗布して下さい。
  - ㉓ 材料は使用前に十分攪拌し、均一に塗布して下さい。配合割合を誤りません。成膜不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。
  - ㉔ 小出し調合する場合は、混合比のずれが生じないよう、必ず台秤・皿電子天秤等を用い、重量比の配合割合は厳守して下さい。配合割合を誤りません。成膜不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。
  - ㉕ ダイヤオールガードマイルドを施工する場合は、A液、B液混合後15～20分程度熟成して下さい。色によってムラになる場合があります。
  - ㉖ 施工後、塗料が乾燥するまでに、降雨などにより水分の影響を受ける状態が継続された場合、低汚染性能が発現しないことがあります。乾燥までに降雨や積雪、結露が予想される場合は施工を避けて下さい。
  - ㉗ 予想外の降雨などが発生した場合は、シート養生などを行い塗料が濡れないよう対策を講じて下さい。
  - ㉘ 施工部位により、低汚染性が十分に発揮されないケースがあります。雨降りでない部位や斜壁、水切りが不十分な面や窓まわり及びその下側面などは、低汚染性能が発現しないことがあります。
  - ㉙ シーリング材などに含まれる可塑剤、煤煙や油煙、サビなどが原因の汚染物質に対しては、低汚染性能が十分に発揮されません。
  - ㉚ 上塗は塗布量を厳守し均一に施工して下さい。塗布量が少ない場合は低汚染性能が十分に発揮されません。
  - ㉛ 塗布面の吸い込みが大きい場合は、下塗などにより吸い込みを少なくし、上塗が塗布面に吸い込まれないようにして下さい。表面に塗料が十分に確保されていない新設性、低汚染性能が発現されません。
  - ㉜ A液とB液は指定の割合で適切に電動攪拌機を用い十分に混合（2分以上）して下さい。
  - ㉝ A液とB液の混合比率が不適切であったり、B液を調整していなかった場合は、低汚染性能が発現しません。
  - ㉞ タッチアップに使用する場合は、上塗のA液、B液の缶を良く振り、沈降分離していないものを指定の割合で計量調査し、電動攪拌機を用い十分に混合し使用して下さい。
  - ㉟ A液とB液の混合後は10分程度十分に攪拌して下さい。使用時間を超えて使用した場合、作業性や仕上がり、汚染性能が発現しない場合があります。
  - ㊱ 中塗・上塗は塗布量を厳守し均一に施工して下さい。塗布量が少ない場合やパターンの谷部に塗料が不足する場合は低汚染性能が十分に発揮されません。
  - ㊲ 上塗と中塗は共通色を使用するため、中塗施工後上塗を施工する場合は塗料がないよう十分注意して下さい。また、タッチアップの際、中塗・上塗は塗布量が少ないよう保管管理には十分注意して下さい。施工管理上、中塗の色相を変えたい場合はご注文の際その旨をお申し付け下さい。
- 【安全衛生上の注意】**
- ① 取扱いには、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防護マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
  - ② 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。
  - ③ 子供の手の届かない所に保管して下さい。
  - ④ 作業中・作業後は十分換気を行って下さい。
  - ⑤ 廃塗料、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
  - ⑥ 目に入った場合は、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
  - ⑦ 顔や飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
  - ⑧ 身体を傷つけたら、速に医師の診察を受けて下さい。
  - ⑨ 皮膚に付着した場合は、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは医師の診断を受けて下さい。
  - ⑩ 臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所へ移動し、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 【その他】**
- ① 製品の取扱いには最寄りの営業所へお問い合わせ下さい。
  - ② 施工に際し、施工・管理上の詳細な注意事項については仕様書等をご確認ください。
  - ③ 施工に際し、安全衛生上の詳細な注意事項については安全データシート（SDS）をご確認ください。

# こんなときには・・・ご相談下さい。



## ◆用途

- 一般外壁の美装と保護
- 複層仕上塗材（硬質）の上塗り
- 一般外壁・屋根の塗り替え
- 木製部材の塗り替え

## ◆品種・包装単位

	製品名	用途	包装単位
下塗	ダイヤガンシーラーマイルド	弱溶剤2液反応硬化型ウレタン系シーラー	15kgセット A液: 14kg B液: 1kg
	ダイヤセランプライマー-S	ふっ素樹脂塗料塗り替え用シーラー 張りタイル塗り替え用シーラー	16kgセット A液: 14kg B液: 2kg
	ダイヤメンテプライマー-TN	弱溶剤系1液含浸密着型プライマー	14kg
	ダイヤアレスエポ	複層仕上げの塗り替え用下塗	16kg
上塗	ダイヤオールガードマイルド	有機ハイブリッド形無機塗料	12kgセット A液: 10kg B液: 2kg
	ダイヤシンナー-PS	ダイヤセランプライマー-S用シンナー	16%
シンナー	ダイヤシンナー-N	ダイヤオールガードマイルド用シンナー ダイヤビスイェボサビ#200A用シンナー	16%